

あおぞら

第22号

発行 社会福祉法人林檎の里
 〒389-1201 飯綱町大字芋川 6013-6
 TEL 026-253-1299
 FAX 026-253-5122
<http://www.ngn.janis.or.jp/~aozora/>

地域の中で普通に暮らす

施設長 相澤 壽

平成二十四年度の、社会福祉法人「林檎の里」事業計画と予算は、去る三月一七日の理事会で承認され、四月から始動しています。

理事会の中でも、確氷理事長の訓示の中でも、①個別支援計画は、身近な目標設定をする②各支援計画は具体的に作成する(何月に何を行うか)③年度末には支援計画の利用者アンケートなどにより、評価が出来るようにし、翌年度に繋げていくことが求められています。



「林檎の里」が、平成十二年四月に、ここ三水の里若宮地区に「あおぞら」を開所してから、十二年が経ち

利用者の皆さんも入所してから、確実に年を重ね、それぞれ落ち着いた生活を過ごしています。

保護者の皆さんの熱意により実現した施設も、当初の試行錯誤の支援体制や、利用者の皆さんの共同生活も、この年月がゆったりとした日々を過ごせるように変わってきました。

「自閉症支援施設」と言う、聞き慣れない障害者施設を、



地元の人々に快く受け入れて頂くと共に、地域の皆さんからの幾多のご支援により、この施設は育てられてきました。

現在、町内に三か所、長野市内に一か所のケアホーム(共同生活介護施設)を受け入れて頂き、十九名の利用者の皆さんが、地域で暮らしています。

日中活動の場として、長野市と町内(栄町)の日中活動支援センターで二十五名の方たちが活動しています。一方、「あおぞら」には、四十名の皆さんが、生活介護と施設入所支援を受けています。この他、短期入所を受け入れています。

これから、地域の皆さんに支えていただき、普通の暮らしを続けていきたいと思えます。



本体施設である自閉症支援施設やおぞらは、4月に障害者自立支援法による新事業体系に移行し、昼間は「生活介護」夜間は「施設入所支援」の各サービスを提供しています。

喜ぶ瞬間の場面



からおぞらを利用する方の「くらし」をお手伝いさせていただく様になつて1年が過ぎました。私が担当をさせて頂いている方の中に、これまで帰省をされていない方がいます。つまり彼は1年のほとんどをおおぞらで過ごしているということ。そんな彼は何に興味があつて、何をしている時が楽しいのか、何をすることが嫌なのかというのを、こちらから提示したものに對する反応を見て知ろうと思ひました。少しずつ関わりを持っていく中で、徐々に彼の方から食べた

い物や行きたい場所を話してくれるようになりました。特に電車に乗って外出した時の嬉しそうな顔

はとても印象的です。縁あつて、今年度も彼の担当をさせて頂けることになりました。今後も色々なことに挑戦し、彼にとつての楽しみを増やしていけたらと思ひます。(武田)

たのしみ



今年度の余暇活動について、テーマとして「みんなであのじい」というようなものになればいいなあと考えています。私たちは今まで、その方の障害特性などを含め、一人ひとりに合った



余暇について模索しながら、皆さんが楽しめる機会を増やしていくけるよう活動をしてきました。

そんな中で、最近の余暇活動では、必要な配慮があれば他の利用者さんと大勢で楽しむことができたり、状況が分かっていればしばらくの間待つことができたり、利用者さんの様子にも変化がみられるようになってきました。普段と違った外出に出かける時などは、あれこれ心配すること



もあるのですが、いつもとは違う表情の利用者さんを見ると、楽しく過ごされているなあと一安心します。

今年は一
人ひとりの
ご希望や必要な配慮を踏まえながら、「みんなであのじい」というような機会をなるべく多く提供できるように努めていきたいと思ひます。(青柳)

はたらく



からおぞらも今年度から『生活介護』として、日中活動がスタートしました。『生活介護』と言つと何か難しそうに感じますが、これまで行ってきたワークプログラムを大切にしながらも、『仕事(作業)』にとらわれることなく、スポーツ活動や余暇などを組み合わせながら、いろんな個性を持った利用者の方、一人ひとりに合った日中の過ごし方を提供していきたいと思ひます。

例えば今年度から新しく野菜作りや椎茸栽培などを始めました。規模

は家庭菜園程度ですが、自分で植えて水やりを行うことで『はたらく』充実感を感じて頂ければと思ひます。
机に向かうことが…細かな作業が…皆と過ごすことが…と苦手なことは誰にでもあるものです。仕事や作業が得意な方も、自分のペースで過ごしたい方も、一人ひとりの個性を生かして充実した1日を過ごせるよう支援をしていきたいと思ひます。(池田久)



林檎の里 ホームページ紹介

林檎の里のホームページが7月からリニューアルします!

林檎の里の紹介や、日常の様子、外出の様子など、機関誌には載っていないホームページだけの情報なども随時更新してまいりますので、みなさん是非ご覧ください

社会福祉法人林檎の里

検索

<http://www.ringonosato.or.jp>

にお気軽にアクセスしてください

林檎の里の 事業所のご紹介



ケアホーム

平成17年に1ヶ所目のケアホーム「ひこうき雲」が飯綱町倉井土浮地区に開所されてから、これまでに飯綱町と長野市に合計4ヶ所のケアホームができ、19名の方々が地域生活移行しています。

■ケアホーム ひこうき雲

県内初の自閉症者専門のケアホームひこうき雲が開所して8年目を迎えました。5名の利用者さんたちは、それぞれのペースで穏やかに生活されています。休日の買い物や外食、夕方のウォーキングなど利用者さんたちの楽しみに繋がる活動を支援していきたいと思っています。

近隣の方から野菜や果物を頂くことがあります。中学生が元気に挨拶をしてくれることがあります。「地域で暮らす」ことが実感される日々です。地域の中でより充実した生活が過ごせるよう努めてまいります。

今後モケアホームひこうき雲をよろしくお願致します。(湯本)

■ケアホーム つばさ

ケアホームつばさは、利用者の生活の場として、住みよい住居を提供し、利用者の自主性の尊重を基本としながら、食事の提供、相談、助言等の支援、その他、日常生活に必要な便宜を供与し、利用者が安心して生活できるケアホームです。

現在、利用者4名、支援員6名(交代にて勤務)での生活を送っています。特性上、地域の皆様との交流が出来る機会は少ないと思われませんが、今年度は出来る範囲での参加を考えておりますので、催し等で触れ合う機会がありましたらよろしくお願致します。(玉崎)

■ケアホーム 上駒沢

ケアホーム上駒沢の皆さんは、5人という少人数で自分らしい充実した日々を過ごされています。共同生活のため、ある程度の規制はあるものの、少人数のため個々のプライベートの時間を多く取ることができ、テレビを見たり、スタッフと会話したりと有意義に過ごされています。また、基本的に自分でできることは自分で行っていたり、自立した生活を目指しています。今年度は昨年以上に余暇活動に力を入れていきます。利用者のニーズに合わせた様々な行事や外出を企画し、実行していきます。



4月より、スタッフが一昨年、昨年以上に力を入れて支援を行いますので、宜しくお願い致します。(若林)

■ケアホーム ひまわり

ひまわりは、開所してから丸1年が経ちました。まだ真新しい香りの残るホームの中で、利用者5名が毎日元気に過ごされています。私たちの目標は、やはり利用者の皆様に心身ともに充実した生活を送って頂くことに尽きます。外出や、地域の催し物への参加を通し、地域の皆様と関わる事で楽しく過ごして頂くと共に、皆様の将来を見据え健康を維持出来るよう努めていきたいです。



また、ホームの名前である「ひまわり」や野菜などを育て「生きる」ことを一緒に学んでいけたらと思っています。ひまわりのように、利用者の皆様の明るく眩しい笑顔を引き出せるよう、日々の在り方を考えていきたいです。地域の皆様、今後ともどうぞよろしくお願致します。(金子)

多機能型事業所

多機能型事業所として、生活介護、自立訓練(生活訓練)のサービスを提供しています。長野市内と飯綱町にあり、定員25名で運営しています。

あおぞら日中活動支援センター

あおぞら日中活動支援センターは長野市上駒沢にあります。センターでの活動は、課題作業、シュレッダー作業、紙薪作り、パチンコ台の解体、地域の薬局に向いてのシュレッダー作業など、利用者一人ひとりに合った作業を行なっています。

また、作業以外でもウォーキングや、外出、夏季にはプール、冬季はスキーなどスポーツも積極的に行なっています。

昨年度同様、「季節を感じられる」余暇活動を今年度もどんどん計画していきます。4月には近くにお花

見に出かけたり、バーベキュー・お好み焼き大会を行ないました。「いつもと違うイベント」では利用者の皆様の弾ける笑顔が見られます。これから地域の皆様との「繋がり」をもっと持つていきたいらと思ひます。地域の皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。(近藤浩)



(近藤浩)

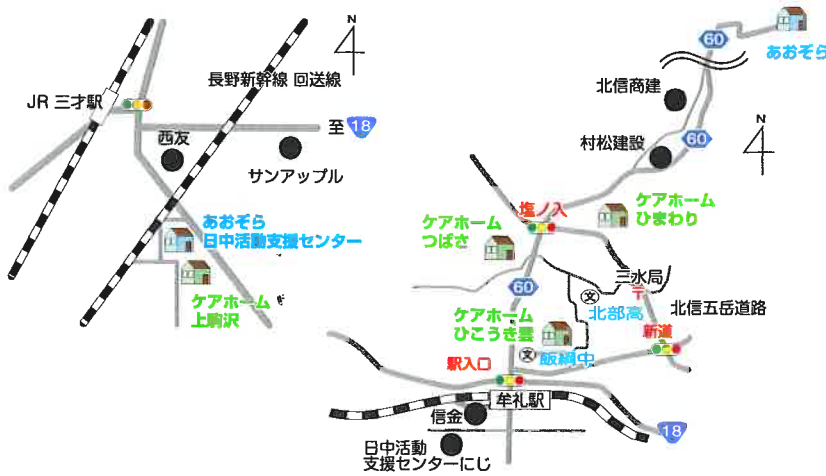
日中活動支援センターに

平成18年に飯綱町の栄町地区に「にじ」が開所し、この6月で7年目を迎えました。今年の5月からは新たなメンバーも仲間入りしました。

にじでは日々の作業に加え「運動」に力を入れて活動しています。ウォーキングをして



地域の皆様とお会いする機会も多く、その際は照れて挨拶の声が小さくなってしまう利用者や、逆に元気いっぱい大きな声で挨拶をする利用者など様々です。地域の皆様にはいつも笑顔で挨拶をして頂き、私たちはいつも元気を頂いています。これからの季節、ウォーキングへ出る回数も多くなってきます。その際はお気軽にお声を掛けて頂けたら幸いと思います。今後とも「にじ」をどうぞよろしくお願ひ致します。(山岸優)



食生活をまなぶ

林檎の里の栄養士として、体も心も支えるような「あたたかい食事」の提供を考えています。それぞれの料理に合った適温の食事もちろんですが、楽しみに待っていてくれる利用者さんの気持ちを受け止めて、想いを込めた「あたたかい食事」を提供していきます。



あおぞらでも外食気分を提供します。また、

祝日には、食事からも休日を楽しんで頂けるよう、ワンプレートランチ、五目いなり寿司など・・・、トレーを受け取った時にワクワクして頂けるような食事を提供していきます。

利用者さんの中には、言葉で想いを伝えることが難しい方もいらっしゃいますが、下膳頂いた後の空っぽの食器

を見ると嬉しくなります。空っぽの食器を目指して、あたたかい食事の提供をしていきます。(大沢)

医務室から



常に利用者の健康状態を把握する為に日頃のバイタルチェック、月に2回の内科検診(長崎病院院長 月1回の精神科検診(上松病院院長)を行っています。また本年度より日中活動支援センターにて朝日病院院長による内科検診を始めました。



(上駒沢センター)を利用して方のみ対象)今後につきましては緊急時に備え、受け入れ病院などを始め各医療機関との連携を更に築いていければと考えています。

この冬は法人内の全事業所において、感染症の流行はありませんでした。感染症の流行の時期には、スタンダードプリコーション(標準予防策)を元におおぞら館内、各ケアホーム、各日中活動センターには次亜塩素酸水噴霧を徹底して予防に努めております。(山岸洋)

林檎の里 平成23年度 決算報告

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	128,851,446	流動負債	44,911,099
現金預金	63,082,884	未払金	30,222,951
未収金	51,876,905	預り金	2,079,272
前渡金	193,670	会計単位内借入金	12,608,876
前払金	1,089,111		
会計単位内貸付金	12,608,876		
固定資産	581,874,611	固定負債	85,948,640
基本財産	519,944,099	設備資金借入金	64,750,000
建物	408,660,302	長期預り金	11,000,000
建物附属設備	65,615,582	退職給与引当金	10,198,640
土地	44,668,215	負債の部合計	130,859,739
基本財産特定預金	1,000,000		
その他の固定資産	61,930,512	純資産の部	
建物	1,984,914	基本金	176,865,388
建物附属設備	8,208,664	基本金	176,865,388
構築物	11,206,912	国庫補助金等特別積立金	252,598,835
車両運搬具	4,980,353	その他の積立金	21,184,203
器具及び備品	3,882,982	人件費積立金	4,000,000
権利	133,034	修繕積立金	2,000,000
ソフトウェア	75,600	備品等購入積立金	2,000,000
退職共済預け金	10,198,640	移行時特別積立金	2,080,129
リサイクル料預け金	75,210	施設・設備積立金	11,104,074
人件費積立預金	4,000,000	次期繰越活動収支差額	129,217,892
修繕積立預金	2,000,000	次期繰越活動収支差額	129,217,892
備品等購入積立預金	2,000,000	(うち当期活動収支差額)	-5,567,779
移行時特別積立預金	2,080,129	純資産の部合計	579,866,318
施設・設備積立預金	11,104,074		
資産の部合計	710,726,057	負債及び純資産の部合計	710,726,057

減価償却費の累計額 302,108,193円

資金収支計算書

(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

勘定科目		決算額
経常活動による収支	収入	
	自立支援費等収入	208,819,367
	利用料収入	30,220,510
	経常経費補助金収入	8,352,859
	寄附金収入	935,500
	雑収入	522,228
	受取利息配当金収入	47,986
	経理区分間繰入金収入	32,958,867
	経常収入計(1)	281,857,317
	支出	
人件費支出	165,237,988	
事務費支出	31,342,173	
事業費支出	36,017,885	
借入金利息支出	2,040,536	
経理区分間繰入金支出	32,958,867	
経常支出計(2)	267,597,449	
経常活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	14,259,868	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	12,303,000
	施設整備等寄附金収入	3,950,000
	施設整備等収入計(4)	16,253,000
支出		
固定資産取得支出	25,520,739	
施設整備等支出計(5)	25,520,739	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	-9,267,739	
財務活動による収支	収入	
	借入金収入	16,000,000
	借入金元金償還補助金収入	3,375,000
	積立預金取崩収入	27,183,793
	その他の収入	9,024,464
	財務収入計(7)	55,583,257
	支出	
	借入金元金償還金支出	59,655,659
積立預金積立支出	0	
その他の支出	3,473,400	
財務支出計(8)	63,129,059	
財務活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-7,545,802	
予備費(10)		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	-2,553,673	
前期末支払資金残高(12)	86,494,020	
当期末支払資金残高(11) + (12)	83,940,347	

事業活動収支計算書

(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

勘定科目		決算額
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	208,819,367
	利用料収入	30,220,510
	経常経費補助金収入	8,352,859
	寄附金収入	935,500
	雑収入	522,228
	借入金元金償還補助金収入	3,375,000
	引当金戻入	1,024,464
	国庫補助金等特別積立金取崩額	11,640,284
	事業活動収入計(1)	264,890,212
支出		
人件費支出	165,237,988	
事務費支出	31,329,533	
事業費支出	36,017,885	
減価償却費	29,506,635	
引当金繰入	2,073,400	
事業活動支出計(2)	264,165,441	
事業活動収支差額(3) = (1) - (2)	724,771	
事業活動外収支の部	収入	
	受取利息配当金収入	47,986
	経理区分間繰入金収入	32,958,867
	事業活動外収入計(4)	33,006,853
	支出	
	借入金利息支出	2,040,536
経理区分間繰入金支出	32,958,867	
事業活動外支出計(5)	34,999,403	
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)	-1,992,550	
経常収支差額(7) = (3) + (6)	-1,267,779	
特別収支の部	収入	
	施設整備等補助金収入	12,303,000
	施設整備等寄附金収入	3,950,000
	特別収入計(8)	16,253,000
	支出	
	基本金組入額	8,250,000
	固定資産売却損・処分損	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	12,303,000
	特別支出計(9)	20,553,000
特別収支差額(10) = (8) - (9)	-4,300,000	
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)	-5,567,779	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	107,601,878
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	102,034,099
	基本金取崩額(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	27,183,793
	その他の積立金積立額(17)	0
次期繰越活動収支差額	129,217,892	
(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)		

林檎の里 二ユーフェイス

- ①名前
- ②所属
- ③抱負



①手塚あゆ美
②あおぞら黒姫様
③まだまだ慣れないことや、悩むことがたくさんありますが、利用者の方に寄り添った支援をしていきたいと思います。よろしくお願ひします。



①岡本いずみ
②あおぞら黒姫様
③今年の抱負は、利用者さんとの信頼関係を築き上げる事です。楽しいことを共に分かち合い、利用者の皆様と仲良くしていきたいと思ひます。



①大飼 勲
②ケアホーム上駒沢
③初めての仕事で、様々な戸惑いや驚きの毎日ではありますが、色々学びながらの日々です。頑張ります。



①百瀬正久
②ケアホームつばさ
③困難に直面した時に、いつも自分に言い聞かせるのは3Aです。「Aわてず」「Aせらず」しかし「Aきめず」。これからもこの精神で頑張ります。



①高橋慎吾
②あおぞら妙高様
③利用者の方の基本情報の知識を高め、日々変わる状況に対し柔軟かつ迅速な対応を心掛けます。

お待ちしております♪



- 林檎の里でボランティアをしてみたい
- 短期入所（ショートステイ）を利用したい
- 事業所の見学や、他事業所職員の研修
- 林檎の里で働いてみたい

などなど

まずは、お気軽にご相談下さい!

自閉症支援施設あおぞら ☎026-253-1299

担当：柳沢



①寺島勇貴
②生活支援
③普段おとなしく、休日は少しゲームー気味な感じですが、大変ですが頑張っていきたいです。皆さんよろしくお願ひします。



①太田黒義嗣
②あおぞら飯綱様
③この度、あおぞらでお世話になる事になりました。太田黒義嗣と申します。よろしくお願ひ致します。



①新井孝啓
②あおぞら作業棟
③5月からお世話になっております。細やかな心配りが出来る支援員になれるよう努力していきたいです。

【ご挨拶】

今年度より林檎の里は組織体系が大きく変わりました。施設支援部、地域支援部、総務部の各部に主任が置かれ、またサービス種別ごとにサービス管理責任者が配置されました。

【施設支援部主任】

あおぞらが開所してから丸12年。開所当時から勤務している、今では数少ない生き残り(?)の私も今年で四捨五入すると40歳になります。月日が経つのは本当に早いですね。

今年度も利用者の皆様の安心・安全で豊かな生活を支援するよう、施設支援部一丸となって取り組んで参ります。また、この先の利用者の皆様の将来についても、法人、保護者の皆様と共にしっかりと考えていきたいと思ひます。(柳沢)

【地域支援部主任】

地域の皆様、いつも温かいご支援をありがとうございます。

地域支援部は、地域の中で住民の皆様との繋がりを大切にしながら、利用者の方々の個性豊かな、明るく元気な「普通の暮らし」をサポートさせていきます。

私も飯綱町に生まれ育って32年。大切な故郷の地域福祉の発展のために、熱い想いを持った職員と共に、

明るく元気に走り続けたいと思ひております。(羽田)

【総務部主任】

総務部は医務、食事支援、經理の3部門により構成されます。あおぞら正面玄関の窓口からカウンター越しに覗く美女・美男(たまに美猫)が主要メンバーとなります。医務、食事支援部門は支援部と力を合わせ、さらに充実したサービス提供に努めてまいります。經理部門は利用者の方々の大切な財産を誠実かつ適切にお預かりすることはもちろんのこと、経営面においては的確な状況把握と将来を見越した試算等により、法人全体の健全な事業運営のため微力ながら必要な提案を進めていきたいと考えます。チームワークを大切に、力を合わせ陰ながら林檎の里を盛り上げていきたいと考えます。(岩井)

編集後記

ランの独り言

「余暇」の支援に力を入れているんだって。そもそも「余暇」って何だろう。僕は天気の良い日にあおぞらの玄関前でうたた寝するのが一番の余暇だニャー。



林檎の里のみんなは外出に行くといつもと違う、とってもいい表情をして帰ってくるんだ。

今年度も素敵な笑顔が沢山見られますように。